

・全世界: インフルエンザ流行状況

日本では 12 月中旬になり各地でインフルエンザが流行レベルに入っており、ウイルスの種類としては H1N1 型が多く検出されています(国立感染症研究所 2019-12-18)。米国でも全米 30 州で流行レベルに入り、2009 年の新型インフルエンザ流行以来の早い流行になっています(米国 CDC FluView 2019-12-20)。ヨーロッパでは 12 月中旬の時点で、まだ顕著な流行がみられていません(ヨーロッパ CDC 2019-12-18)。

・アジア: マレーシアでポリオ患者が発生

マレーシアで 27 年ぶりにポリオ患者が発生しました。患者はサバ州・Tuaran に住む男児で、ワクチン株由来の 1 型ポリオウイルスの感染でした(ProMED 2019-12-8)。隣国のフィリピンでも今年 9 月から、ミンダナオ島などでワクチン株由来ウイルスの患者が発生しており、今後、東南アジア全体でポリオ患者数が増加する可能性もあります。

・アジア: トリインフルエンザの発生状況

WHO は今年の 9 月下旬以来の世界のトリインフルエンザ患者の発生状況を発表しました(WHO Outbreak news 2019-11-25)。中国では 2013 年から発生していた H7N9 ウイルスの患者が、今回も報告されませんでした。2017 年に患者数が増加して以来、2018 年以降はほぼ発生がなくなった模様です。一方、H9N2 ウイルスの患者が中国で 2 人、インドで 1 人確認されました。いずれも小児で回復しています。

・大洋州: 南太平洋の麻疹流行

南太平洋のサモアで麻疹の流行が拡大しています。12 月初旬までに患者数は約 4200 人に上っており、62 人が死亡しました(WHO Outbreak news 2019-12-15)。隣国のトンガやフィジーでも患者数の増加が報告されています。オーストラリア東部のブリスベン近郊でも麻疹患者が 8 人発生しており、南太平洋からの流行の波及が懸念されています(ProMED 2019-12-5)。なお、ソロモン諸島とマーシャル諸島で

は、全ての入国者に麻疹ワクチンの接種証明書の提示を求める措置を 12 月中旬から実施しています
(厚生労働省検疫所 HP 2019-12-24)。

・アフリカ: コンゴのエボラ熱流行

コンゴ民主共和国で流行中のエボラ熱に大きな変化はみられていません。最近の患者発生数は毎週
10~20人で、新しい患者が引き続き発生している状況です(WHO Outbreak news 2019-12-19)。昨年8
月の流行発生以来、累積患者数は 3351 人(疑い含む)で、このうち 2217 人が死亡しました。

・中南米: ブラジルで Dengue 熱患者数が年間 200 万人に

米州保健機関の報告によると今年の米州での Dengue 熱患者数は 300 万人に増加しています(Pan
American Health Organization 2019-52 week)。このうちの 7 割にあたる 200 万人がブラジルでの発生
でした。ブラジル国内では南部のミナス・ジェライス州やエスプリート・サント州で、昨年の 10 倍を超える
Dengue 熱患者が確認されています(Outbreak news today 2019-12-12,18)。なお、今年のブラジルでは、
蚊に媒介されるチクングニア熱の患者数も多く、リオデジャネイロでは約 3 万 8000 人と、昨年の 3 倍以
上の数になっています((Outbreak news today 2019-12-20)。ブラジルに滞在する際には蚊に刺されな
い対策をとってください。